

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和6年度 立野ダム河川域等環境保全措置モニタリング業務
業務概要	計画準備1式、環境巡視1式、環境保全措置等検討1式、河川域等保全措置モニタリング調査1式、河川域等環境モニタリング調査1式、調査結果等とりまとめ1式、報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 福井 貴規 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 6年 4月12日
契約業者名	(株)建設技術研究所
契約業者の住所	東京都中央区日本橋浜町3-21-1
契約金額	34,980,000円(税込み)
予定期格	34,980,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	熊本県阿蘇郡南阿蘇村外
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 6年 4月13日
履行期間(至)	令和 7年 3月31日
備考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度 立野ダム河川域等環境保全措置モニタリング業務

2. 履行場所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村外

3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名2-4-12
会社名：（株）建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、立野ダム事業区域周辺の自然環境の巡視・調査を行い、環境保全対策を推進するために、事業による影響を検討し、必要に応じて対応策等を検討するものである。また、「立野ダム建設事業に係るモニタリング計画書（案）」に基づき、陸産貝類の生息状況や試験湛水後の影響を把握するためのモニタリング調査を行うものである。

2) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を31者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

立野ダム工事事務所 工務課長